

つたえる地域 つながる地域

レスリング全日本ジュニア カデットの部グレコ

レスリングの全国大会で上位入賞を果たした八戸学院光星高の川市竜之介さん（中央）と濱田浩暉さん（左）。右は金淵清文監督



川市さん（光星高）2位世界へ

日本レスリング協会が主催する全国大会「JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権」（4月27、28日、横浜市）のカデットの部（16、17歳）グレコローマンスタイルで、八戸学院光星高の川市竜之介さん（17）が2位、濱田浩暉さん（17）が3位と、上位入賞を果たした。2人はさらなる飛躍へ決意を新たにしている。

（林泰輔）

川市さんは80キ級に出場。初出場だった昨年の大会は2回戦で敗れたが、今大会は「ポイントを取られても弱気にならず攻め返した」との言葉通り、粘り強く戦い決勝に進出。決勝は惜しくも敗れたが、2位以内に入り、世界カデット選手権（7月29日～8月4日、ブルガリア）への出場権を手にした。初の国際大会へ向け「海外的選手の力を知りたい

濱田さん（光星高）3位

い機会。1勝を目指して頑張りたい」と意気込んだ。濱田さんは92キ級で2大会連続の出場。昨年は悔しい1回戦負けを喫したが、今回は「練習の成果を発揮できた」。ただ、準決勝で敗れた試合を振り返り、「力の差があった」と悔しさをあらわにし、「得意の投げ技に、もっと磨きを掛けた」と奮起を誓っていた。